

# UCSサービスリクエストの初期調査用データの収集

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[データの収集時期](#)

[収集するデータ](#)

[収集するテクニカル サポート バンドル](#)

[UCS BシリーズおよびSシリーズ \(統合\)](#)

[UCS HXシリーズまたはCシリーズ \(統合型\)](#)

[UCS Cシリーズ \(スタンドアロン\) またはUCS Sシリーズ \(スタンドアロン\)](#)

[オペレーティング システムのテクニカル サポート データ](#)

[VMWare ESXi](#)

[Red Hat Linux をベースにした製品](#)

[SUSE Linux をベースにした製品](#)

[Microsoft Windows](#)

[UCS テクニカル サポート バンドルを収集する際の他の検討事項](#)

## 概要

このドキュメントでは、UCS 関連のサービス要求の調査のために Cisco TAC が要求する共通データを示します。

サービスリクエストをオープンする際に、このようなデータをサービスリクエストに添付することで、問題の最初の特定にかかる時間を大幅に短縮できます

問題発生時に収集されたデータがない場合、Cisco TACは特定の問題が発生した理由を明確に説明できない可能性があります

## 前提条件

このドキュメントでは、必要なテクニカルサポートバンドルを生成するために適切なUCS GUI/CLIに対して管理者レベルのアクセス権を持っていることを前提としています

## 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

Cisco Unified Computing System ( UCS ) Manager コマンド ライン インターフェイス ( CLI )

Cisco インテグレートド マネージメント コントローラ ( CIMC )

## データの収集時期

シスコは一般に、TACの関与が必要または要求される可能性が高い時点で関連データを生成することを推奨します。

これは、ファブリックインターコネクトのリポートが発生した場所など、大規模または急速に変化する環境で一般的に見られる、重要なログファイルが対象となる時間をカバーしないようにするためです

Cisco TACは通常、複数のテクニカルサポートが必要な場合は、UCSMテクニカルサポートをシャワーシまたはその他のテクニカルサポートファイルの前に生成することを推奨します。これは最も時間が重要で、生成に最も時間がかかるためです。

既知のソフトウェア不具合またはオープンなサービスリクエストにより、特定のUCSテクニカルサポートを提供できない場合は、Cisco TACに連絡してください。

## 収集するデータ

テクニカルサポートバンドル以外に、収集する必要がある問題に関する重要なデータには次のものがあります。

- 発行日時
- 該当するサーバまたはサービスプロファイル
- 発生時に表示されるエラー、特に PSOD/BSOD/カーネル パニック画面のスクリーンショット
- 発生時または最近実施した変更
- 問題のトラブルシューティング、またはサービスの回復のために実行したアクションがあれば、その情報
- OS の種類とバージョン
- VIC ドライバ バージョン ( つまり ENIC/NENIC/FNIC のバージョン )
- RAID コントローラ ドライバ バージョン
- 使用中の追加HBA/NICのドライバ
- 負荷、夜間のバックアップ/メンテナンス タスクなど、可能性のあるトリガー条件に関する情報。
- アップストリームのイーサネットまたは SAN スイッチ、ストレージ アレイなどのトポロジの基本的な概要。
- 発生時に UCS Manager に表示されたコア ファイルのアップロード

ただし、その状況で重要な要素と思われる他のデータも含まれる可能性があります。

## 収集するテクニカル サポート バンドル

通常 Cisco TAC は、最初に次のテクニカル サポート バンドルを要求します。

## UCS BシリーズおよびSシリーズ ( 統合 )

UCSM テクニカル サポート

影響を受けるサーバをカバーするシャーシのテクニカル サポート。

## UCS HXシリーズまたはCシリーズ ( 統合型 )

UCSM テクニカル サポート

該当するサーバをカバーするFEXテクニカルサポート ( 該当する場合 )

ラック サーバのテクニカル サポート

## UCS Cシリーズ ( スタンドアロン ) またはUCS Sシリーズ ( スタンドアロン )

CIMCテクニカルサポート

類似しているが影響を受けないサーバからのテクニカルサポートの提供も役立ちます

## オペレーティング システムのテクニカル サポート データ

相互運用性の問題発生時に、OS テクニカル サポート データが Cisco TAC での分析のために役立つと思われる場合、最初に次のものを提供できます。

### VMWare ESXi

vm-support

### Red Hat Linux をベースにした製品

sosreport

### SUSE Linux をベースにした製品

supportconfig

### Microsoft Windows

アプリケーションおよび evt または evtx ファイル形式のシステム イベント ログ

Systeminfo の出力または同等のもの

## UCS テクニカル サポート バンドルを収集する際の他の検討事項

可能な限り、単一の大きなファイルに複数のテクニカルサポート バンドルを組み合わせないようにします。

最終的なファイルの拡張子は .tar ですが、UCS テクニカル サポートはすでに十分に圧縮されています。

ただし、他のサイズの大きいデータ ファイルが圧縮されていない場合、zip/gz/bz2/7z などの一般的な型式で圧縮することをお勧めします。

明示的な指示または絶対に必要でない限り、テクニカルサポートファイルの[Exclude Commands]オプションの使用や、完全なUCSMテクニカルサポートバンドルではなくucsm-mgmtの提供は避けてください

ブレードまたはラックサーバでPSOD/BSOD/カーネルパニックが発生した場合は、サーバのシャットダウン後にブートするのではなく、UCSM/CIMCまたはKVMのリセットオプションを使用してサーバをリブートしてください。

これにより、トラブルシューティングのための追加情報が生成されます。この情報はテクニカルサポートバンドルに含まれ、サーバをシャットダウンすると、このデータは失われます。